

討論報告書

土浦市議会基本条例（平成26年土浦市条例第71号）第19条に規定する政策討論会を行いましたので、以下のとおり報告します。

記

1 日 時 令和2年6月5日 午前10時から午前11時20分

2 場 所 土浦市議会第1委員会室

3 出席議員 19名

4 政策討論会の議題

新型コロナウイルス感染症による経済対策としてのプレミアム商品券発行事業について

5 討論の結果

議題に対する討論会において、主に以下の意見が出されました。

(1) プレミアム商品券発行事業の概要について

- 事業者と消費者が、この事業を通して共に土浦を元気にしてほしい。
- プレミアム商品券発行事業にキャッチコピーをつけてはいかがか。
- 特別定額給付金の効果と関連できるように、6月議会で議決し、できるだけ早く市民に示すことを望む。

(2) 市民や事業者からの意見

- 市民から次のような声を聴いているので検討してはいかがか。
 - ・介護保険の福祉用具購入や介護サービスの自己負担分に充てられないか。
 - ・事業者が負担する手数料を市に負担してほしい。
 - ・これまでのプレミアム商品券は、事業者の事務の負担が大きいため、手続きは簡便な仕組みが望ましい。
 - ・対象業種をある程度指定しないと、プレミアム商品券の効果が行き届かない。

(3) 制度設計について

- プレミアム商品券発行事業として、これまでにない大きさの規模で行うべきである。
- 事業の規模は、本市の15歳以上の人口相当である12万セットはいかがか。
- プレミアム率は、できるだけ高い設定が望ましく、50%は必要である。
- 10%と50%の2段階のプレミアム商品券も検討してはどうか。
- コロナ禍で特に苦しい業種に効果が行き届くような制度設計が必要ではないか。
- 地域の消費喚起と経済的に困窮している方のどちらも大切にする制度設計を望む。
- 生活保護受給世帯に対してプレミアム商品券を給付してはどうか。

○ プレミアム商品券を扱う店舗に手数料の負担がないようにしてはどうか。

(4) 商品券の販売と使用について

○ プレミアム商品券の販売は、休日の販売や販売所を多くするなど、市民が購入しやすいよう努めること。郵便局は数も多く、市民の利便性が高いので提携してはどうか。

○ これまでの例に捉われず、購入できる者は、土浦市民のみとする。

○ プレミアム商品券の1枚当たりの額面は、釣銭が出なくても使用しやすいように、1枚を500円単位が望ましい。

○ プレミアム商品券の1セット当たりの金額は、5,000円が購入しやすいのではないか。

○ 一人当たりの購入限度額を撤廃してはどうか。

○ 使用できる店舗が分かりにくいので、使用できる店舗を広く周知するべきである。

6 政策提言

土浦市議会は、市に対して新型コロナウイルス感染症下における経済対策（プレミアム商品券発行事業）に係る政策提言を別紙のとおり行いました。

令和2年6月9日

土浦市議会議長 篠塚 昌毅